

クロスロード体験ワークショップ

リーダーとして、引き出しを増やそう!

～「生き延びるか」「修羅場となるか」は、あなた次第!～



(報告者: 白田克雄・中村俊光)

平成31年3月3日(日)外は朝早くから雨模様の中、「桃の節句(雛祭)」「東京マラソン」という日に、日本建築士会連合会青年委員会主催の全国大会が東京都建築士会事務所で行われ、前日の全国青年委員長会議から引き続き、2日目はワークショップ「防災クロスロードゲーム」を実施した。

当日は午前9時から12時までの開催で、全国47都道府県建築士の精鋭である男性62名、女性1名の人たちが参加された。今まで建築士の女性委員会を対象として神奈川県、千葉県、茨城県と8回行い、今回で建築士を対象とするワークショップが9回目となりました。今年は男性主体の全国青年委員長会議の皆さんが集う催し物で、今までの雰囲気とは異なる男性独特のウイットに富んだ意見や笑顔、楽しいしぐさが女性陣とは違った趣を醸し出し、唯一人の女性も男性陣と馴染んで、全体的に好感が持たれ充実したワークショップであった。

◆CRG体験ワークショップ開始



ワークショップ風景

《A組～H組まで8グループ 男性62名、女性1名》



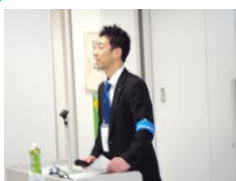
今回のワークショップの窓口であるキレイどころの小野澤裕子さんと同じく窓口役で黒子に徹せられた「どんなことがあっても慌てない、冷静沈着な男」寺澤彰剛さん(この写真双方とも無許可掲載)

◆全国青年委員長会「CRG体験ワークショップ」～進行・開会挨拶: 工藤 博臣氏～

《どこまでもクールな男。でも実は熱い!》

◆CRGワークショップの構成
(タイムスケジュール)

- 9:00～ 9:15 CRG(クロスロードゲーム)説明 …… 白田リーダー
- 9:15～12:00 グループ別(8グループ)CRG実践 …… 中村講師
 - ・ファシリテーター・リーダー・書記と発表者を決める。
 - ・アイスブレーキングの後ゲーム実践～グループ発表～講評。
 - ・前半(設問①～⑤)・後半(設問⑥～⑩～SP②) 計11設問
 - ・休憩15分



昨日の全国青年委員長会議に引き続き、今日は「防災塾だるま」の白田、中村両講師のリードでワークショップ形式の「クロスロードゲーム」を行います。皆さん今日もお昼までマジメに頑張りましょう。

◆CRG体験ワークショップの概要・目的(白田リーダー) <認知症にならない、ただの慣いおじさん>

前段：眠りから目覚める朝の頭の体操(昨晚の懇親会後にあたって)


今日の趣旨とは違いますが、始めに軽いクイズ形式です。各国の国民性を外国人が的確に表した『沈没船ジョーク』とは?

問題

【世界各国の人々が乗った豪華客船が沈み始め、船長は外国人乗客に脱出を促すことになったが、脱出ボートの数が足りません。したがって、その船の船長は、乗客を海に飛び込ませようとしてますが・・・さて、質問：船長が外国の人を飛び込ませるために放った言葉とは何でしょうか?】

- ・「飛び込めばあなたは英雄になれますよ」 
- ・「飛び込むと女性にもてますよ」 
- ・「飛び込めばあなたは紳士ですよ」 
- ・「飛び込むのはこの船の規則ですので海に飛び込んで下さい」 

などのクイズで答えを指名された人は目覚めた?

ちなみに・「皆さんはもう飛び込んでいますよ」 



「クロスロード」とは、「岐路」「わかれ道」、重要な決断、判断のしどころを意味します。災害対応は、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。防災に関する取り組みにしばしば見られるジレンマ「こちらを立てればあちらが立たず」を素材として、参加者が、自分自身で二者選択の設問に「YES」または「NO」の判断を下すことを通して、【気づき】に特化したゲームです。防災を「他人事」ではなく「我が事」として考え、同時に相互に意見を交わすことを狙いとしたグループゲームです。基本的に「クロスロードゲーム」に<<正解>>はありません。

◆CRGの実践(中村俊光講師)

・論議・指名者コメント・グループ発表・講評・講師の突込み

ワークショップは中村俊光コーディネーターの采配に従って進行しました。



芸能人?
場を和まし、切り廻すことにかけては日本一の名人
(大阪で仕事をしていた人)



各グループ真剣に或いはジョークを交えて設問YES/NOに対して意見を述べている。



まだ慣れない中、指名された人の見解に聞き入る参加者皆さん疲れを吹き飛ばし、エンジンがかかってきた。



カードを伏せて出し、一斉にオープン
 飽…狙い！ えー嘘でしょう？



「ご褒美」のキャンディーで
 ……意見交換も和やかに
 ……果たしてMVP賞の行方は？

★設問例：ゲームでは YES?・NO? 様々な意見が…

- * 設問⑤ あなたは・・・建築士です。
- * 震度6強の地震が発生。
- * 自宅や事務所は無事です。
- * あなたは、応急危険度判定士の資格を持っています。
- * 数日後、自治体から建物の判定依頼がありました。
- * しかし、今かかえている仕事の納期が迫っています。
- * 依頼に応えると納期が間に合いません。
- * **質問：あなたは依頼をどうしますか？**
- * ・YES(引き受ける)／NO(断る)



＜＜YES＞＞

- * 社会貢献の意味で、依頼されたら引き受ける。
- * 困っているときはお互い様。依頼主に説明して納期を延ばしてもらう。
- * 危険が迫っている様子なので、出来るだけやってみる。

＜＜NO＞＞

- * 納期が迫っているので、誰かに代わってもらう。
- * 早く応急危険判定士の資格を取らなくては…
- * この仕事で生計を立てているので、納期に間に合わない場合は違約金を取られてしまうかもしれない。

…… さて、講師からのコメントは？



- ・設問ひとつずつ丁寧に指名者コメント、グループ発表と講評に真摯に聞き入る参加者
- ・参加者全員が他人事とは思わない様子が垣間見える
- ・終了後、全員の感想が聞きたいと思います

◆閉会挨拶 (公社) 日本建築士会連合会 青年委員会 委員長 川嶋 和之氏
≪47道府県1のイケメン。女性だけではなく男性にもモテるモテ男！≫



この写真等無許可掲載

昨日の全国青年委員長会議で話題になった建築士会の会員を増やして行こうという事で、皆様の会員獲得のご協力をお願いします。(ここで参加者から何だかチャカシが入る)

今日は「防災塾だるま」の白田、中村両講師のお蔭でワークショップ形式の「クロスロードゲーム」を行いました。総評で話された感性を磨き、引き出しを増やそうを肝に命じ、皆さん頑張って行きましょう。



2019年3月3日 参加者全員で記念写真

会場：一般社団法人 東京建築士会

所在地：東京都中央区日本橋富沢町11-1番1号 富沢町111ビル5階



お疲れ様でした。

今度お会いする時に元気で。皆様の仕事の繁栄と健康を祈願しています！

◆編集後記

◀中村講師の感想▶

いつものワークショップの風景と違った雰囲気（ネクタイを締めたスーツ姿の男集団、あ、紅一点も）の中、白田のジョーク問題から始まり、いつものクロスロードをスタート。

最終的には11問を出題したが、その結果に驚きを覚えた内容となった。なぜなら、設問①から設問⑦全てに一人総取り（合計15人）が発生。今までのワークショップを顧みる限り、全問終わった段階で数人しか総取りが無かったと思います。

今回の「今日のMVP」に選ばれた香川県の某氏は、二度も総取りを達成すると共に、他の設問中6問にも多数派でご褒美の飴玉をゲットした強者でした。又、他グループ内でのMVPには、10問で多数派に入り飴玉ゲットの方も。

最終的に飴玉の数が多かった人を取り上げましたが、だからその方の考え方が正解で、少なかった方が不正解と言う事ではありません。あくまでもゲームです。次の機会があったならば、もっとも「少なかった方」もMVPに認定したいと思った今回のワークショップでした。

いつもながら、情報の少ない（わざとですが）設問に対し、総勢36人の方々にお話しを伺いました。中には、全員YESだったグループは、なぜYESだったかではなく、NOの理由を話し合ったとの話もあり、皆さんが真剣にかつ積極的に設問に対して考えて頂いていた事、有難く思っています。最後に、今回、裏方でご尽力頂いた方々に感謝申し上げるとともに、ご参加頂いた皆様にお疲れ様でした。そして有難う御座いました。又の機会に。



◀白田リーダーのまとめ▶

（今回は全国青年委員会主催ということなので 意識して硬く）

皆様が講習（WS）に臨む意義は、皆様自身がそのことに『気づき』受講後何を『やる気を持って行動するか』にかかっていると思います。話の内容、配布された資料（消化不良を起こさず）の中に何かを感じ取り、自分に合った手法で地域社会や仕事に役立つ行動、実践につなげて行くかは皆様自身の心構えで変わって行きます。

いつも受け身で外野手的に物事を捉えるのではなく、成果を上げるのには想定外も含め『掘り下げて』『イメージ』を膨らませて、自ら前向きに考え、積極的に作り上げ、どのように実現して行くのかにかかっています。

成し遂げようとするに、仮に反対勢力があるとしたならば、『恐れぬ勇氣』と『信念』、『ぶれない行動力』で臨んで行く意欲が肝心であると自分自身に言い聞かせながらトライして行かなければと決意することです。その過程で目的を達成するためには、語弊がありますが『人に嫌われても』悔いはないという強い意志を持って初志を貫く覚悟で臨むことが大切で、中途半端な行為では実績には結び付かないと思うことです。

自治会活動や防災活動、また仕事は不満と感謝のせめぎ合い、度合いで決まります。一人ではできない。賛同する仲間（男性、女性）を作って増やして行く作業、『学ぶ力』を養う場、また負けない『戦う力』を身に付ける場であると思います。だから事を進めるために悩むのです。

リーダーとして、感性を磨き引き出しを増やそう！

結びに、川嶋青年委員長、今回の窓口を務めた小野澤様、寺澤様、司会者の工藤様を始め参加された皆様、勉強させて頂き、有難うございました。皆様のご健闘を陰ながら祈念しております。



鈴木純三作短歌◀酔い痴れて泣く男あり魂を売りそこねたる背中を見せて▶⇒信念の通り清く生きても・・・

